

SUSHI KINGを展開するSushi Kin Sdn. Bhd.の物流部門の移管を受け、同社の物流業務を受託することから事業を開始。その後、TRBグループの事業運営ノウハウと国分グループの物流運営ノウハウを融合し、その他のTRS傘下企業を含むマレーシア国内の外食事業者・小売事業者の物流業務を受託することで事業拡大を目指す。

国分では今年からスタートした第10次長期経営計画で、海外事業の「基幹」事業化を掲げており、アセアン事業はその柱のひとつ。中でもマレーシアは経済発展に伴う食品市場の拡大が進む有望な市場で、既に国分グループが事業展

開しているベトナム、ミャンマーに並ぶアセアン事業の中核エリアと位置付け、進出を計画していた。

一方、TRBグループは、同国において20年の歴史を持つSUSHI KINGをはじめ日系企業等との提携を通じて外食チェーン店を積極的に展開しており、これらの物流に関して効率化・高度化を実現するとともに、食品物流関連サービスの事業化を図りたいとの意向があった。両社の意向を実現するため合弁会社を設立し、低温食品物流事業を共同で進めていくことで合意した。

## 全通の3月コンテナ実績は2カ月連続3%増、年間でも3%増

全国通運(杉野彰社長)は3月のJRコンテナ取扱実績をまとめた。これによると取扱実績は対前年同月比3%増の19万6573個となった

た(12ftコンテナ換算)。JR貨物のコンテナ実績も3%近いプラスとなっている。

全通の取扱個数は昨年11月の1%減から12月

### 東京団地倉庫

### 「50周年特設サイト」をHP内に開設

### 設立50周年を迎え、式典・企画情報などを積極的に発信

東京団地倉庫(本社・東京都江東区、高橋久夫社長)は今年設立50周年を迎えるにあたり、1日にホームページ内に「50周年特設サイト」を開設した。

特設サイトを活用することで、50周年の節目に予定している企画や行事などのほか、設立以来の事業展開や今後の抱負などを随時告知していく予定。

同社は1966年に倉庫会社94社によって設立された。70年に最初の事業所として

都内に平和島のほか、板橋(73年開業)、足立(77年開業)、葛西(85年開業)の4カ所に事業所を有し、大規模な共同倉庫を提供する業務を行っている。

同社は昨年11月に「中長期経営指針」を策定。そこでは今年設立から50年の節目を迎えるにあたり、今後の進むべき方向を明らかにしている。同社の設立の際の使命は、社会的インフラである「物流」を支えていくことだったが、中長期経営指針では、あらためて設立時の使命を振り返ると同時に、今後の「物流」の変化に対応し、倉庫施設の提供会社にとどまらず、物流業務支援の役割を担えるようなステップアップを図る方針も提示している。

なお、同社では「50周年記念ロゴ」を作成した(写真)。今後、特設サイトに掲載するほか、機会に応じて活用していく考え。



して以来、日本経済の成長にあわせて、首都圏における重要な物流の根幹を担い続けてきた。現在は